



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ワンキャリア 上場取引所 東

コード番号 4377 U R L <https://onecareer.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 宮下 尚之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 木村 智明 T E L 03 (6416) 4088

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (当社ホームページに決算説明動画を掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	5,590	42.3	1,677	61.1	1,688	61.8	1,188	62.4
2024年12月期第3四半期	3,929	35.5	1,041	42.3	1,043	42.3	731	40.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	66.25	64.28
2024年12月期第3四半期	41.36	39.81

(注) 当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	7,650	5,136	67.1
2024年12月期	5,733	4,044	70.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 5,136百万円 2024年12月期 4,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
2025年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 21.00	円 銭 21.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、2025年12月期末の配当金予想については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

(注2) 配当予想の修正につきましては、本日(2025年11月14日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	7,427	37.5	1,857	43.3	1,856	43.1	1,308	41.7	73.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	18,008,625株	2024年12月期	17,830,770株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	5,211株	2024年12月期	3,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	17,944,670株	2024年12月期 3 Q	17,692,702株

(注) 当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、春闘の結果を反映した賃上げへの動きや、好調な企業収益による企業の高い投資意欲を背景に、雇用・所得環境は改善し、緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、継続する物価上昇や米国の関税政策による影響の懸念等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

人材採用領域においては、有効求人倍率（季節調整値）は2025年8月には1.20倍となり、人材需要は継続して堅調に推移しております。またオンラインの採用活動が企業の採用プロセスとして定着しており、企業の採用DXへの需要は堅調に推移しております。

このような環境の中、当社は積極的な法人向けのマーケティング活動等で新規取引先との接点を増やし、求人掲載サービスやスカウトサービスの販売に繋げました。さらに、地域・業界・職種等の特定カテゴリの学生・企業の抱えるニーズに合致したサービスを強化し、会員数及び法人顧客数拡大に注力しております。

当第3四半期累計期間において会員数は2,267千人（前年同期比368千人増）、法人取引累計社数は5,583社（前年同期比1,619社増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,590,333千円（前年同期比42.3%増）、営業利益は1,677,674千円（前年同期比61.1%増）、経常利益は1,688,036千円（前年同期比61.8%増）、四半期純利益は1,188,870千円（前年同期比62.4%増）となりました。

なお、当社はキャリアデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に連携付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は7,650,664千円となり、前事業年度末に比べ、1,917,257千円増加しました。

流動資産は6,391,318千円となり、前事業年度末に比べ1,708,122千円の増加となりました。これは主に現金及び預金1,644,718千円の増加によるものであります。

固定資産は1,259,345千円となり、前事業年度末に比べ209,135千円の増加となりました。これは主に敷金及び保証金84,350千円の増加、有形固定資産75,621千円の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は2,514,186千円となり、前事業年度末に比べ824,902千円増加しました。

流動負債は2,492,155千円となり、前事業年度末に比べ807,230千円増加しました。これは主に契約負債714,156千円の増加によるものであります。

固定負債は22,030千円となり、前事業年度末に比べ17,672千円増加しました。これはリース債務17,672千円の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は5,136,478千円となり、前事業年度末に比べ1,092,354千円増加しました。これは主に剰余金の配当による利益剰余金178,276千円の減少があった一方で、四半期純利益の計上による利益剰余金1,188,870千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、配当予想の修正につきましては、本日（2025年11月14日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	4,309,661	5,954,379
売掛金	253,857	287,368
棚卸資産	8,246	11,303
その他	111,430	138,267
流动資産合計	4,683,196	6,391,318
固定資産		
有形固定資産	201,773	277,394
無形固定資産	280,700	313,681
投資その他の資産		
投資有価証券	186,164	193,613
敷金及び保証金	295,860	380,211
その他	85,710	94,443
投資その他の資産合計	567,735	668,269
固定資産合計	1,050,210	1,259,345
資産合計	5,733,406	7,650,664
負債の部		
流动負債		
買掛金	56,151	54,198
短期借入金	100,000	100,000
リース債務	1,560	9,723
未払金	249,669	171,192
未払法人税等	259,903	293,507
契約負債	789,042	1,503,199
賞与引当金	14,962	83,304
その他	213,634	277,028
流动負債合計	1,684,925	2,492,155
固定負債		
リース債務	4,357	22,030
固定負債合計	4,357	22,030
負債合計	1,689,283	2,514,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,792	19,841
資本剰余金	1,575,949	1,656,776
利益剰余金	2,449,793	3,460,387
自己株式	△406	△406
株主資本合計	4,044,128	5,136,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	△120
評価・換算差額等合計	△5	△120
純資産合計	4,044,123	5,136,478
負債純資産合計	5,733,406	7,650,664

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,929,820	5,590,333
売上原価	594,531	792,532
売上総利益	3,335,289	4,797,800
販売費及び一般管理費	2,294,062	3,120,126
営業利益	1,041,227	1,677,674
営業外収益		
受取利息	0	6,968
雑収入	2,547	6,372
助成金収入	1,000	—
その他	56	36
営業外収益合計	3,603	13,378
営業外費用		
支払利息	614	807
投資事業組合運用損	662	854
譲渡制限付株式報酬償却損	400	704
その他	27	649
営業外費用合計	1,704	3,015
経常利益	1,043,126	1,688,036
税引前四半期純利益	1,043,126	1,688,036
法人税等	311,268	499,165
四半期純利益	731,857	1,188,870

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、キャリアデータプラットフォーム事業の单一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ23,140千円増加しております。

また、2025年5月16日付で譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ17,797千円増加しております。

そして、2025年3月26日開催の定時株主総会決議に基づき、2025年6月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額が39,889千円減少、その他資本剰余金の額が39,889千円増加しております。

これらにより、当第3四半期会計期間末において、資本金が19,841千円、資本剰余金が1,656,776千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	82,312千円	100,680千円

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2025年8月21日開催の当社取締役会において、当社が現在17.8%株式を保有する株式会社ライトローズ（以下「ライトローズ社」）の株式82.2%を追加取得し、完全子会社化すること（以下「本取得」）について決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2025年10月1日付で全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社ライトローズ

事業の内容：自社メディア運営、自社アプリ運営

(2) 企業結合を行った主な理由

ライトローズ社は、「ITで全国の学生生活から日本をDX」という理念のもと、大学生活支援アプリシステム「CAMPUS REACH」の開発・運営を中心事業として展開し、利用者基盤を拡大し続けております。また、学生向け情報メディアの運営や採用マーケティング支援事業など多角的なサービスを通じて、学生生活の質的向上と未来志向のキャリア形成を支援しています。

本取得により、「CAMPUS REACH」を通じた大学生活の支援、並びに「ワンキャリア」を通じた就活支援を行うことで、大学生の日々のキャンパスライフから就職活動まで一気通貫でサポートすることができ、当社単体ではサポートできなかった就職支援以外の学生生活支援領域に進出することが可能となります。また、当社グループによるクライアント企業と学生ユーザーの最適なマッチングを加速させることで、顧客価値の最大化を図ることが可能になるものと考えております。

両社が協業しシナジーの創出が実現されることで、ライトローズ社のさらなる事業成長が十分に見込まれ、両社の中長期的な企業価値向上に資すると判断し、株式を取得いたしました。

(3) 企業結合日

2025年10月1日（株式取得日）

2025年12月31日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合後の名称に変更はございません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 17.8%

企業結合日に追加取得した議決権比率 82.2%

取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 第3四半期累計期間に係る四半期損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2025年12月31日としているため、当第3四半期累計期間に係る四半期損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に保有していた株式の企業結合日における時価	8,640千円
追加取得に伴い支出した現金	40,000千円
取得原価	48,640千円

(注) 当該取得価額に加えて、本契約には業績等の達成度合いに応じて条件付取得対価（以下「アーンアウト対価」）を株式取得の相手先に支払う合意がなされています。アーンアウト対価は株式取得の相手先に追加的に支払われる対価であり、ライトローズ社の業績等に応じて追加代金を支払います。アーンアウト対価の導入により、本取得に伴う当社のリスクを軽減するとともに、ライトローズ社に対するインセンティブ効果が得られることになります。

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

弁護士、アドバイザリー費用等 4,180千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

6. 企業結合日に受け入れた資産及び負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。